

令和元年（2019年）フォローアップ研修ブログ

担当：野外活動サークル

《近江大津京跡を巡る》

◎実施日：令和元 11 月 12 日（火） 参加人数：39 名

667 年 3 月飛鳥岡本宮から近江大津宮に遷都。陽光あふれる湖畔の新都は、後継争いで生じた「壬申の乱」後に廃都となり荒れ果てた。その地が近年発掘調査され錦織地区周辺に在ったことが明らかになり、今回その周辺を巡りました。大海人皇子は「壬申の乱」勝利後、672 年 8 月 25 日飛鳥岡本宮に戻る。673 年 2 月 27 日大海人皇子は飛鳥浄御原宮で「天武天皇」即位する。

当日は天候に恵まれ、近江大津京付近は紅葉が始まりつつあり、また、琵琶湖に水面に浮かぶ近江富士もはっきり見え、参加者のご協力の下、無事に研修旅行を終えることが出来ました。



檀原神宮前駅より乗車



大津市埋蔵文化財調査センター



展示品の一部



出発前の準備体操



お茶栽培発祥の地



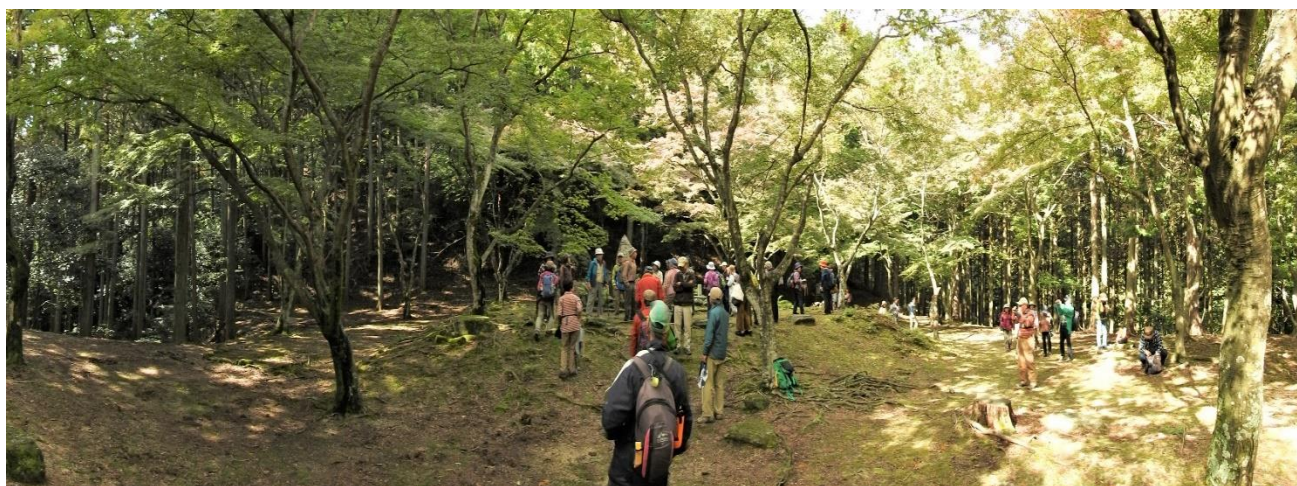
百穴古墳群



志賀の大仏（弥勒菩薩）



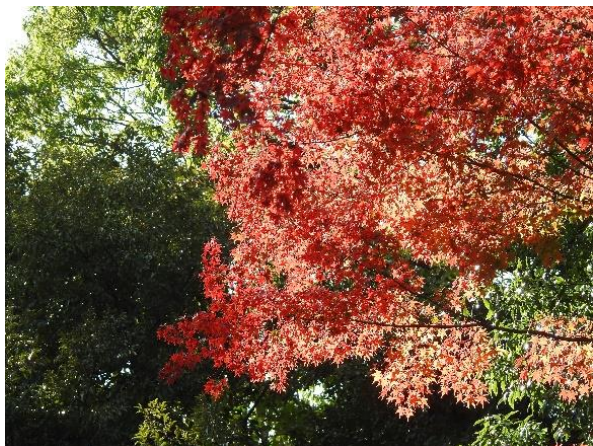
崇福寺跡への上り坂



崇 福 寺 跡



琵琶湖を望む



近江神宮境内の紅葉



近 江 神 宮



近江神宮境内で昼食・休憩



湖 国 菊 花 展



研修参加者による記念集合写真



水 時 計（漏刻）



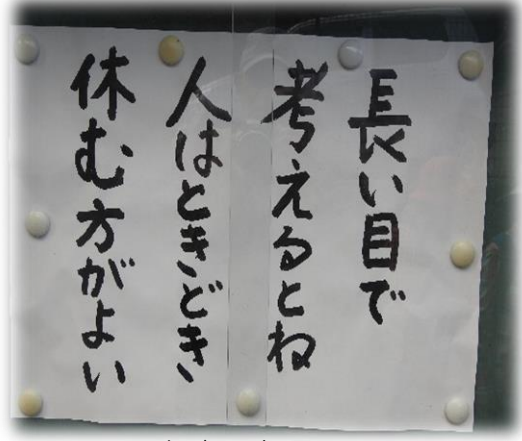
大津宮錦織遺跡



皇子が丘公園の紅葉



弘文天皇陵



お寺の名言



大津市歴史資料館前からの眺め



歴 史 資 料 館



近江富士



三井寺（園城寺）



車中からの夕日と夕焼け

以上